

図書館展示室で

「しかく」 見てビックリ! 視覚トリック展

オバケのせいじゃないよ



今夏、日立市シビックセンターで開催し
好評を博した展示を茨城大学で開催します!

期間:平成27年10月5日(月)~10月13日(火)

時間:月~金 9:00-17:00 ※10/12(月)は休館

土~日 11:00-17:00

場所:茨城大学図書館1階展示室



今回展示する絵はハイブリッド画像 (hybrid image) と呼ばれているものです。遠くからは見えないのに近づく見える絵が隠れていたり、その逆に近くでは見えずに、遠ざかることではじめて見える絵が隠れています。いわば、人間の視覚の裏をかくトリックアートです。この絵に重ねられているすべての絵を見るためには、さまざまに行動する必要があります。ぐっと近づいてみたり、3メートルくらい、またはそれ以上遠ざかってみたり、と同時に、携帯電話のカメラを通して見てみたり、メガネをはずしてみたり、そのように行動してみることで、さまざまな絵が浮かび上がってくるでしょう。



茨城大学工学部 メディア通信工学科

矢内 浩文 准教授

展示物 「オバケ絵ギャラリー」
~近くで見た絵と遠くで見た絵が違う!~



茨城大学工学部 知能システム工学科

住谷 秀保 助教

展示物 「オバケが飛び出す! 3Dムービー」

今年(2015年)夏休み期間中に日立シビックセンター科学館の特別企画展が開かれました。企画展のテーマは「おばけ」。錯視や錯覚を用い、おばけをみているような不思議な感覚を幅広い観客に伝えようという企画です。今回は青(シアン)赤補色によるステレオアナグリフ動画やきらめき格子など幾つかの作品を提供しました。ヒトは、「見る」だけでなく「認識」するために、高度な情報処理を行う視覚認知機能や目や脳の構造を進化させてきました。進化の一方で、ある現象は簡単に見落としたり気づかなかったり誤って認識することがわかってきています。みなさんは何を正確に見ることができるのでしょうか? 不思議体験の裏にある秘密を想像しながら楽しんでいただければ幸いです。

主催:

茨城大学工学部メディア通信工学科(矢内浩文准教授)
茨城大学工学部知能システム工学科(住谷秀保助教)

